

株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局

2021 年度放送番組審議会議事録

<放送番組審議会委員>

入江和彦様 小林俊樹様 志賀進一様
須田昌彦様 染谷光雄様 長江曜子様

(50音順)

2021年度の放送番組審議会は、昨年同様に新型コロナウイルスの感染拡大を防止の観点から、番組審議会委員と事業者の対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して書面をもって現況報告および J:COM チャンネルの取り組み、放送実績についての報告を行い、審議委員より書面にて J:COM チャンネルに対する意見、要望を受取りました。

意見書の集約および回答については、株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局および、番組制作担当部署、JCOM 株式会社 J:COM プロダクション本部により、意見の拝受および内容の検討・審議結果について、回答させていただきます。

<回答者>

株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局

局長

佐藤 浩

地域プロデューサー

会田 直樹

JCOM 株式会社 J:COM プロダクション本部

千葉リージョンマネージャー

西井 俊介

習志野事務所 制作チーム長

折田 康男

1、番組について

■「LIVE ニュース」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

時節柄、コロナ関連の行政ニュースが中心。「LIVE ニュース」というタイトルにしては、ライブ感が少ない。事業者を応援する情報や新規オープン情報に新商品情報、生活に潤いを与えるちょっとしたアイデアなどコロナ禍でも楽しめる情報や話題があると良い。

20代、30代の市内在住者で、新聞等の紙媒体での情報収集を行っている方は年々減少しており、市広報にも目を通す機会が減っている。かつ、情報弱者には目と耳からの情報で助かると思う。地域ニュースの速報性を生かした番組として、これまで以上にニーズを捉え、頑張ってください。特に災害時には大切なメディアのため、日常から努力を願う。

（事業者）

「LIVE ニュース」は、「地域のランドマークとなる“キーステーション”から生放送で地域の今を伝える」ことをコンセプトにしております。開始直後に、新型コロナウイルス感染防止対策の強化と、まん延防止等重点対策措置が発出されたため、日々変化する社会情勢に対応しながらの制作となりました。放送開始後、未だ発展途上の番組ではありますが、委員の皆様それぞれの視点から、改善点や要望などを承りましたので、東葛・葛飾局、また、制作に関わるスタッフ全員にご意見を共有し、今後の番組企画・制作に反映させていただきます。

■「WEEKLYトピックス(ウィークリーニュース)」について

（委員からの主な意見・指摘事項）

県内の市町村で取り組んでいる事業の比較ができ、地域特性を踏まえた行事がどのように実施されているかを知ることができるため参考になる。

ひとつのニュースについて、しっかり、詳しく伝えることを目標に編集されている点で好感度が高い。ニュースソースがより楽しく視聴できるものをいかに集めるかが勝負となるので、市民、地域からの情報収集ネットワークが大切。「ど・ろーかる」の投稿機能の活用も期待する。

（事業者）

番組は、東葛・葛飾局を含む、県内6支局(対象17自治体)から寄せられたトピックスを集約して放送しておりますので、地域の比較、多様な、といったご意見のいただける構成となっております。現在の番組に関しては、LIVE ニュースとの差別化・情報収集の手段・ネットワーク

など、番組自体の制作・企画に関して、ご意見もありますので、更なる向上を目指して制作を進めて参ります。

■「ちばのミライ」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

普段接触することがない県知事の施策実施に対する考え方や県内地域に対する思いを知ることができる数少ない機会であり、継続して欲しい。

知事の人柄がとても良く出ている番組だと思うので、ちばの魅力をたくさん伝えて行って欲しい。知事のインスタグラムから話題を聞き出す所が身近な話題となっている点がとても良い。

（事業者）

J:COMの支局では、各自治体に密着しておりますが、千葉県を進める方針やガイドライが、自治体の施策に影響を与えることも多く、自治体活動を県の視点から俯瞰して考えることのできる番組かと思っております。身近な知事の語りについて評価を頂いておりますので、この点を肝に銘じつつ、県政を身近に感じられる番組制作を進めてまいります。

■「防災広報葛飾」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

都内の先進的な防災設備を実際に使用する場合の留意点等について、画面を通して確認することができ、地震や火災発生時の参考となる。内容的には充実していると思うが、町会等の役員ではなく、地域住民の参加がもう少し多いと良いのではないかと。

身近な防災情報を、現場で実演して「言葉＋動画」で伝えている点が良い。女性インタビューとの対話で伝えている所がとても伝わりやすい。

（事業者）

「防災・減災」は、地域密着のケーブルテレビでは、欠かすことのできない番組の要素と捉えております。各委員のご意見にもあるように、さらに市民一人ひとりが身近に感じられる内容を発信・伝達することが番組の肝となると感じました。今後、制作を進める中で、その点について、企画・構成を検討していきます。

■「つながるNews(葛飾)」へのご意見、ご要望

(委員からの主な意見・指摘事項)

近隣行政区で実施されている施策等も知ることができ、地域での話題がそれぞれ比較できて良いと感じる。東葛、千葉エリアの情報も同様にとけると良い。文字情報での視認もできるようになっており、障害のある方への配慮もなされている。同じワクチン接種情報でも、区長自らや、接種会場風景、文字情報、と伝達手段もそれぞれの違いが出ていて個性的だと思った。

(事業者)

それぞれの区ごとに、地域性や施策に個性があり、東京都下の特別区の動きを感じて頂けるとご意見から推察しております。都単位での区切りはありますが、千葉県東葛地域に隣接する地域のため、相互に情報交換をしながら、番組制作にあたりたいと考えております。

2、自由回答

■上記以外のご感想、ご意見など記載ください

(委員からの主な意見・指摘事項)

戦争やコロナウイルス感染症のニュースが多くを締める中ではあるが、より地域の大切さ、楽しさを感じやすい時期。「Stay Home」の中、「地域再発見」が必要だからこそコミュニティチャンネルの大切さを実感できる番組作りが重要なポイントだと思う。

観光や文化など地域の旬な情報は、その地域に限らず広報的に放送されることを期待する。特に日帰りで街歩きできる距離のエリアの人たちは、情報を欲しているのではないかと。

「つながる・広がる・コミュニティチャンネル」を体現するため、地域の方々からの情報を収集・取材し、熱量のある画面で伝えて欲しい。

(事業者)

委員のご意見からも推察できるように、国際・社会情勢や国・県の施策の影響をうけながら、自治体、市民、産業経済、観光など、「それぞれの地域の動き」が決まってくると考えております。このため、地域密着の番組制作・チャンネル運営でありながらも、その背景となっている事案を考慮しながら、「地域情報の深堀」に努めてまいりたいと考えております。

以上